

# 田村地域デザインセンター (UDCT) の取り組み

## ～大学との協働から地元主体の活動へ～

平成 19 年から田村市と東京大学は共同で市内のまちづくりを進めてきました。市民と大学・市との協働から始まった取り組みが、基本方針の検討からまちづくり実験の実施を経て、地元住民主体の活動に発展し、市内全域に広がり、活気を見せています。その一部をご紹介します。

〔UDCT: 田村地域デザインセンターの英訳 Urban Design Center Tamura の略称です〕

### ～まちなかが市民の発表の場に～

#### 船引

中心市街地の空洞化から「住み続けるまち」を目標として、空き店舗の活用や「たむらかるた (商店街版)」の制作などの社会実験にも取り組んできました。現在は、それらの取り組みを受け継ぎ「船引まちづくり協議会 (会長: 星達夫)」が中心となり、田村の五月祭、まちなかでの展示会、つるし雛まつりを実施し、毎回たくさんのかたが見に来ています。



### ～菅谷駅前の新しい拠点からの発信～

#### 滝根

菅谷地区を重点的に「生活を魅せる」をまちづくりの目標として、取り組んできました。現在は、菅谷まちづくり実行委員会 (委員長: 柳沼昌寿) が設立しまちづくりの取り組みを行っています。昨年度は菅谷駅前の新しい拠点となる菅谷駅公衆トイレも完成し、平成 23 年 10 月には記念式典を開催するなど、駅周辺に新しい動きが起っています。駅を核とした地域の魅力づくりへ向けて着実に取り組みを進めています。



### ～大越全域をつなぐ市民の活動へ～

#### 大越

大越では、以前から全域で地元住民による意欲的な取り組みがなされてきました。それらをつないで、一体となった大越をつかって「大越全域をつなげる」ことを目標として大越まちづくり協議会 (会長: 松本昌行) を設立して取り組んでいます。平成 23 年 11 月には旧大越娯楽場 (大越武道館) を活用した「大越まちづくり収穫祭」を実施するなど、地域の住民が楽しめる場づくりを行っています。また、ヒマワリの種を大越全域で植えるなど、大越全体にまちづくりの輪が広がっています。



### ～都路のこれからを考える～

#### 都路

都路では基本方針を検討し、まちづくり実験の実施に入ろうとした目の昨年 3 月に大震災と原発事故が起こりました。都路の住民は、不安を抱えながらの避難生活をおくるという状況ですが、10 月にこれから都路のまちをどうしていくのかを考える場を設けました。また仮設住宅入居者へアンケートを実施し、今の都路の住民はどのようなことを考えているのかなどの把握に努めています。



### ～常葉のまちづくり基本方針検討から社会実験へ～

#### 常葉

学生が現地に入りまちづくりの調査を行っています。大震災と原発事故の影響で、これまでにない新しい課題も多くありますが、住民と共にこれからの常葉の姿を考えています。今年度検討を行なっている基本方針に沿って、今年度に具体的な取り組みとして社会実験 (まちづくり実験) を実施していく予定です。  
**まちづくり基本方針の中間報告会を 4 月 21 日 (土) 18:30 から文化の館ときわで行います。お気軽にご参加ください。**



まちづくりのアイデアを UDCT (田村地域デザインセンター) にお気軽にお寄せください。  
963-4312 福島県田村市船引町船引字五升車 3 9-1 TEL...0247-82-6110 FAX...0247-82-6118  
ホームページ <http://www.udct.jp/> メール [udct-info@abnet.or.jp](mailto:udct-info@abnet.or.jp)

# 友と支え合った日々。 希望を胸に 堂々と新たな一歩



▲式に臨む生徒の皆さん (上の写真・表紙とも都路中卒業式)

決して忘れることのできない日、平成 23 年 3 月 11 日。その日は市内各中学校の卒業式でした。あれから 1 年...。去る 3 月 13 日に今年度の卒業式が行われ、市内合わせて 440 人の生徒が新たな旅立ちのときを迎えました。誰もが想像すらできなかった苦難。それを受け止め、友といっしょに乗り越え、前向きに歩んでいこうとするひたむきなまなざし。震災の影響で母校で卒業式を迎えることがかなわなかった都路中の卒業式は、旧春山小学校の仮校舎で厳粛にとりおこなわれました。在校生代表の渡辺直城さんが「皆さんが培った伝統を受け継ぐことを誓う。美しい自然あふれる都路で育ったわたしたちは一つです」と送辞、力強くエールを贈りました。これを受け 26 人の卒業生を代表して渡辺正宗さんが「たくさんの人々に感謝するとともに、たとえ離れていても都路魂は決して忘れない」と答辞を述べ、式場が深い感動に包まれました。

## 未来をみつめるまばゆい笑顔 - 卒業式を終えてひとこと -



遠藤優佳さん・赤石沢夏海さん

震災でいろいろあって、一時期ばらばらになってしまったけど、みんな一緒に卒業できてよかった。

これからも福島県で活躍して復興に貢献できればと思っている。(赤石沢さん・写真右)

みんなそろって卒業式を迎えられてうれしい。将来は人を幸せにする仕事が見たい。ウェディングプランナーを目指している。(遠藤さん・写真左)



渡辺啓太さん

震災の影響で、慣れ親しんだ母校で卒業式ができないのは残念だが、みんなそろって卒業できたのはうれしい。

勉強も部活も頑張りたい文武両道を目指す。



渡辺千聖さん

みんなと離れるのはさみしいけど、思い出に残るいい卒業式だった。文化祭が一番の思い出。

英語関係の仕事につきたい。外語大学に進学するのが目標。



渡辺亮介さん

地域の皆さんに支えられて、無事卒業式を迎えられてうれしい。

震災にくじけず、これからも自分のやりたいことを貫き通したい。